



困るのよ...



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

## 乾かない洗濯物、どうしましょう？

冬の時期、衣類に関する悩みと云ったら、やっぱり【洗濯物が乾かないこと】がダントツではないでしょうか。重ね着をしているため、1人当たりの洗濯物の枚数は夏場より多いわけですから、洗濯を担当する人はとても苦勞していることと思います。乾きにくいものは、干し方を少し工夫してみましょう。

バスタオルはぴったり半分に折って干すよりも、片側を長く垂らした“ずらし干し”の方が乾きやすいです。ピンチハンガーに片側を挟んで吊り下げたのも、おすすめの干し方のひとつ。干している場所によっては、吊り下げた下側が乾きにくくなることもあるため、その場合は途中で上下を入れ替えてください。

トレーナーなど脇の下が乾きにくいものは、ハンガーを2本使った干し方がおすすめ。トレーナーをハンガーにかけたら、もう1本のハンガーに両袖を引っかけて浮かせるようにします。厚みのある脇の部分がオープンになることで、ふつうに干すよりも短時間で乾きます。濡れて重たくなった袖が下がらないので、肩が伸びにくく、型崩れしにくいというメリットも◎フード付きのものは、背中と重なっている部分が乾きにくくなりがちなので、背中側にもう1本ハンガーをセットしてフードを引っ掛けましょう。袖・本体・フードとそれぞれをハンガーに掛ける“3本干し”で時短に！



降雪地域に暮らしている以上、一定期間はどうしても室内干しになってしまう私たち。洗濯物が乾かないという悩みは避けて通れないものです。ストレスなく洗濯が続けられるよう、アイデアをみんなで共有していきましょう。「こんな工夫でうまくいっているよ！」というよい方法を知っている人は、ぜひ知恵を貸してください。

## 部屋干しする時は



### ●室内の結露に注意

洗濯物を干している部屋は、他の部屋に比べて湿度が高くなります。窓はもちろん、壁、家具の裏などが結露しやすくなるので、こまめに点検を。

### ●エアコン内部のカビに注意

エアコンを稼働させている場合、湿気の多い空気が循環するため、内部のカビ発生リスクが高まります。定期的にエアコンクリーニングをすると安心です。

### ●生乾き臭に注意

乾くまでに時間がかかると雑菌が繁殖しやすくなり、生乾き臭の原因に。短時間で乾かすように工夫することはもちろん、洗濯時には汚れをしっかりと落としきること、すすぎを丁寧にするこもニオイを防ぐポイントです。

CHECK!

## 中古品・古着のお預かりについて

中古品や古着は、目に見えない部分の経年変化や劣化によりクリーニング時にトラブルが起きてしまうことがあります。事前にリスクを説明し、納得していただいた場合のみ、お預かり(お手入れ)可能とさせていただきます。お手数ですが、預ける際には「中古品」または「古着」である旨をお知らせください。



## 営業案内 (赤い日はお休みです)

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

OPEN\*9:00-CLOSE\*18:30

※お休みや営業時間に変更になることがあります

★1月20日(土)は臨時休業です

137 234 81  
枚数 フォロワー フォロー中

クリーニングの紺新【おさがりプロジェクト2023\*11月リニューアル】  
創業64年の小さなお店。クリーニング・しみ抜き・お直しなど、なんでもご相談ください。2016年「おさがりプロジェクト」スタート。制服・体操着のリユースで子育て世代を応援中！雑貨店「アトリエ・プラン」...続きを読む  
@consin\_uonuma.com 他2件



## 豆知識をお届けしています

定休日を除く  
ほぼ毎日発信中!

Instagramのアカウントで、#今日の豆知識として日々の情報を発信しています。ストーリーズにアップしたものをハイライトに残していますので、ぜひ参考にしてください。

クリーニングの紺新【consin\_uonuma】



2023年もご愛顧いただきありがとうございました。ワークショップ開催や、おさがりプロジェクトのホームページ新設など、新しいことに挑戦した1年でした。2024年、クリーニングの紺新は創業65年を迎えます。先代から受け継いできたものを大切にしながら、時代の流れとともにしなやかに変化し進化を続けられるよう、努力して参ります。新しい年も、どうぞよろしくお願ひいたします。